

2017 年 2 月 20 日現在 暫定版

日本文化政策学会 第 10 回年次研究大会 開催要綱

2017 年 3 月 25 日（土）・26 日（日）

会場：静岡文化芸術大学

研究大会テーマ

「文化政策の新たなかたち」

主催 日本文化政策学会

開催概要

日時 2016年3月25日（土）・26日（日）
会場 静岡文化芸術大学（〒430-8533 静岡県浜松市中区中央二丁目1番1号）
参加費 事前振込の場合、会員1千円・非会員2千円・学生1千円。当日申込は会員2千円、非会員4千円、学生2千円。
1日目の公開シンポジウム及び公開ラウンドテーブル、2日目の企画フォーラム、両日のポスターセッションのみの参加は無料です。

大会スケジュール	
<u>3月25日（土）</u>	
9:30	受付開始
10:00-11:30	分科会Ⅰ-A～D
11:45-13:15	分科会Ⅱ-A～D
14:15-16:45	開会あいさつ、祝辞 等
14:45-16:15	公開シンポジウム「文化政策の新たなかたち」
16:30-18:30	公開ラウンドテーブル「医療領域から学ぶ政策現場と研究の関係」
18:45-20:15	懇親会
<u>3月26日（日）</u>	
8:30	受付開始
9:00-10:30	分科会Ⅲ-A～D
10:45-12:15	分科会Ⅳ-A～D
12:15-13:15	ポスターセッション（コアタイム）
12:15-13:05	理事会（理事のみ）
13:15-13:45	総会
14:00-15:45	シンポジウム「スポーツ政策と文化政策 -2020年以降の課題-」
16:00-17:30	企画フォーラム

大会に関するお問い合わせ先 大会プログラム委員会事務局（浜松）
〒430-8533 浜松市中区中央 2-1-1
静岡文化芸術大学 文化政策学部芸術文化学科 中村美帆研究室内
E-mail: jacpr10th@suac.ac.jp

大会以外のお問い合わせ先 日本文化政策学会事務局（東京）
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1
東京大学大学院人文社会系研究科 文化資源学研究室内
E-mail: jacpr_office2013@yahoo.co.jp URL: <http://www.jacpr.jp> 電話: 03-5841-1251

プログラム

3 月 25 日(土)

9:30	受付開始	講堂ロビー
10:00-11:30	分科会 I	南棟 2 階

分科会 I - A 「対外文化政策と観光」 座長：調整中 南279中講義室

- 発表者 予定討論者
- ①川村 陶子(成蹊大学文学部教授) 小林 真理(東京大学)
- 1970 年代西ドイツにおける立法府と文化政策～「対外文化政策に関する連邦議会調査委員会」の活動と意義～
- ②松本 茂章(静岡文化芸術大学文化政策学部教授) 古池 嘉和(名古屋学院大学)
- 伝統工芸品の海外進出をめぐる現状と課題ー佐賀県・有田焼を事例にー
- ③片山 明久(京都文教大学総合社会学部准教授) 古池 嘉和(名古屋学院大学)
- 「ものがたり創造」による新しい文化の定着ー京都府宇治市を事例にー

分科会 I - B 「文化と国家」 座長：調整中 南280中講義室

- 発表者 予定討論者
- ①高久 彩(九州大学大学院地球社会統合科学府包括的東アジア・日本研究コース修士課程) 井上 敏(桃山学院大学)
- 明治政府の「復古」と博物館の一断面ー「神武創業」と「古器旧物」の関係からみえてくるものー
- ②梅原 宏司(近畿大学文芸学部文化デザイン学科講師) 中村 美帆(静岡文化芸術大学)
- 南原繁の文化国家論についてー「文化」とは何を指していたのかー
- ③李 知映(東京大学大学院人文社会研究科文化資源学研究専攻文化経営分野博士課程) 関 鎮京(北海道教育大学)
- 韓国国立劇場の設立初期の研究

分科会 I - C 「サポーター・ボランティア」 座長：調整中 南281中講義室

※開始時刻：10:30ー

- 発表者 予定討論者
- ①金 嬪娜(東京藝術大学大学院芸術環境創造専攻博士後期課程) 井原麗奈(静岡大学)
- 地域型アートプロジェクトにおけるサポーターの自主活動
- ②藤原 旅人 井原麗奈(静岡大学)
- (九州大学大学院芸術工学府博士課程/さいたまトリエンナーレ2016サポーターコーディネーター)
- 首都圏の大都市型アートプロジェクト「さいたまトリエンナーレ2016」を支えるサポーターの意義と課題

10:00—11:30 分科会Ⅱ

南棟 2 階

分科会Ⅱ－A「文化政策とアジア」 座長：調整中 南279中講義室

発表者 予定討論者

①南田 明美 川崎 賢一(駒澤大学)

(神戸大学大学院国際文化学研究科博士課程後期課程、日本学術振興会特別研究員 (DC2)、南洋理工大学人文社会学部英文学科客員研究員 (シンガポール))

転換期を迎えたシンガポールの文化政策 (2) :

1960年代・70年代と現在のコミュニティ・センターを中心とする芸術文化活動の共通点と相違点

②谷地田 未緒(東京藝術大学国際芸術創造研究科助教) 調整中

東南アジアにおける地域に根ざした芸術活動 —マレーシアを発端とする域内ネットワーク構築の試みについて

③藤原 恵洋(九州大学大学院芸術工学研究院教授) 川崎 賢一(駒澤大学)

1979 年福岡市美術館開館記念第 1 回アジア美術展を主導した九州芸術工科大学初代学長小池新二のアジア観に関する考察～福岡市におけるアジア文化政策の画期として～

分科会Ⅱ－B「海外の文化政策 (1)歴史と現在」 座長：調整中 南280中講義室

発表者 予定討論者

①松本 郁子(東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学専攻博士課程) 藤井 慎太郎(早稲田大学)

文化政策と宗教の位相 —マッセイ報告書 文化政策の台頭がもたらしたもの—

②長嶋 由紀子(共立女子大学他・非常勤講師) 藤井 慎太郎(早稲田大学)

第一次石油危機後のフランスにおける文化多様性の承認と包摂をめぐる議論と政策実践

③秋野 有紀(獨協大学外国語学部専任講師) 川村 陶子(成蹊大学)

国家レベルの文化行政における首都機能の移転・分配

—ドイツはどのような要件を重視し、移転・分配を行ったのか—

分科会Ⅱ－C「劇場の公共性」 座長：調整中 南281中講義室

発表者 予定討論者

①山口 真由(東京大学大学院学際情報学府博士課程単位取得満期退学、劇団7度) 徳永 高志

「公共劇場」論とは何か—上演施設を示す用語の分析から

②横堀 応彦(立教大学現代心理学部兼任講師) 小林 真理(東京大学)

現代ドイツの公立劇場を取り巻く環境変化に関する一考察：ミュンヘン・カンマーシュピーレの事例から

分科会Ⅱ－D「自由論題」 座長：調整中 南282中講義室

発表者 予定討論者

①小島 立(九州大学大学院法学研究院准教授) 中村 美帆(静岡文化芸術大学)

いわゆる「著作権教育」の観察と分析から得られる著作権制度の現状と課題について

②長津 結一郎(九州大学大学院芸術工学研究院助教) 杉浦 幹男

障害とアートに関する言説の変容とその社会的背景～新聞内容分析を通じた考察 (仮)

2017 年 2 月 20 日現在 暫定版

14:15—14:45	開会あいさつ、祝辞 等	講堂
14:45—16:15	公開シンポジウム	講堂

テーマ「文化政策の新たなかたち」

登壇者：

青木 保（日本文化政策学会顧問）

中川 幾郎（日本文化政策学会元会長）

伊藤 裕夫（日本文化政策学会前会長）

進行：片山 泰輔（静岡文化芸術大学教授）

16:30—18:30	公開ラウンドテーブル	講堂
-------------	------------	----

テーマ「医療領域から学ぶ政策現場と研究の関係」

講演：藤澤 由和（宮城大学事業構想学部・教授）

ラウンドテーブル：複数の学会員を予定

18:45—20:15	懇親会	学生食堂
-------------	-----	------

参加費（会員・非会員とも）6,000円 学生3,000円

※ 懇親会への参加を御希望の方は、必ず大会参加申込手続きの際に、同時に参加をお申し込みください。

3 月 26 日(日)

8:30	受付開始	講堂ロビー
9:00—10:30	分科会Ⅲ	南棟 2 階

分科会Ⅲ－A「海外の文化政策(2)理念と制度」 座長：調整中 南279中講義室

発表者 予定討論者

①小林 瑠音 太下 義之(三菱UFJリサーチ&コンサルティング)

(神戸大学大学院国際文化学研究科博士後期課程、日本学術振興会特別研究員DC2)

英国アーツカウンシルとカルチュラル・デモクラシー（仮）：「数本のバラか、多数のタンポポか？」を巡る論争を中心に

②花田 勝暁(東京外国語大学大学院博士後期課程) 太下 義之(三菱UFJリサーチ&コンサルティング)

ブラジルのメセナ法：ルアネー法～その仕組みと問題点、企業主導の自浄的公募の仕組み～

③新地 真之(名古屋大学法政国際教育協力研究センター特任講師) 藤野 一夫(神戸大学)

インドネシアの文化政策— 伝統的文化的表現の法的保護における問題点

分科会Ⅲ－B「文化財・文化資源」 座長：調整中 南280中講義室

発表者 予定討論者

①土屋 正臣(藤岡市役所) 井上 敏(桃山学院大学)

“分け与える” から “ともに学ぶ” へ—埋蔵文化財行政における専門家の役割を中心として

2017 年 2 月 20 日現在 暫定版

②佐藤 忠文(熊本県立大学特任講師)

直田 春夫(NPO政策研究所)

対話の中の文化資源－ 菊池まちづくり道場の継続から －

③榎原 彩(東京藝術大学大学院音楽研究科音楽文化学専攻芸術環境創造領域修士課程2年)

小泉 元宏(立教大学)

地域コミュニティ・ソングにおける表現行為の多様化に関する研究

－〔歌う〕〔上演する〕〔踊る〕からみえてくる社会的背景－

分科会Ⅲ－C「文化享受の分析」 座長：調整中

南281中講義室

※開始時刻：10:30－

発表者

予定討論者

①柴田 英紀(独立行政法人日本芸術文化振興会プログラムオフィサー)

調整中

芳賀 由利子(独立行政法人日本芸術文化振興会調査研究員)

鑑賞行動の動向と公的助成に関する調査研究 演劇分野における鑑賞者アンケートの集計結果からみえるもの

②西島 央(首都大学東京准教授)

中学生のスポーツ・芸術活動への参加・継続状況に関する実証研究－鹿児島県の中学生対象質問紙調査より－

分科会Ⅲ－D「アートプロジェクト(1)コミュニティとの関係」 座長：調整中 南282中講義室

発表者

予定討論者

①佐野 直哉(東京藝術大学大学院)

佐藤 李青(アーツカウンシル東京)

アートイベントの経験価値を誘発するソーシャルメディアの研究～茨城県北芸術祭を事例に～

②田島 悠史(宝塚大学東京メディア芸術学部)

吉田 隆之(大阪市立大学)

地域の主体性を回復する、小規模地域アートイベント運用モデルの提案と検証

③野田 邦弘(鳥取大学地域学部教授)

原 久子(大阪電気通信大学)

アートプロジェクトと移住定住の関係に関する考察～鳥取藝住祭を事例として考える

10:45－12:15 分科会Ⅳ

南棟 2 階

分科会Ⅳ－A「統制下の文化政策」 座長：調整中

南279中講義室

発表者

予定討論者

①陳 怡如(神戸大学大学院国際文化学研究科)

井原 麗奈(静岡大学)

日本統治下の台湾における興行取締規則と大衆芸能－台湾歌劇と人形劇を対象に－

②大蔵 真由美(東海学院大学短期大学部講師)

寺田 卓矢

戦時における地方文化団体の実態に関する研究－文化行事の開催に着目して－

分科会Ⅳ－B「自治体文化政策とまちづくり」 座長：調整中

南280中講義室

発表者

予定討論者

①山本 麻紀子(一般財団法人宇部市文化創造財団館長兼事務局次長) 工藤 安代(NPO法人アート＆ソサイエティ研究センター)

宇部市における文化によるまちづくり

②滋野 浩毅(京都文教大学地域協働研究教育センター専任研究員)

西島 央(首都大学東京)

自治体文化政策に見る文化政策と生涯学習政策との関係に関する一考察－京都府宇治市との共同研究の取組から

2017年2月20日現在 暫定版

③古池 嘉和(名古屋学院大学現代社会学部教授)

馬場 憲一(法政大学)

大藤 祥大(名古屋学院大学経済経営研究科経済学専攻)

世界遺産制度と地方行政の対応のあり方について—南砺市五箇山集落を例に—

分科会Ⅳ－C「文化施設」

座長：調整中

南281中講義室

発表者

予定討論者

①伊志嶺 絵里子(東京藝術大学非常勤講師)

曾田 修司(跡見学園女子大学)

清水 麻帆(大正大学助教授)

文化施設におけるアウトリーチに関する調査報告～東京都を事例にして

②苅谷 桃佳(静岡文化芸術大学大学院修士課程2年生)

曾田 修司(跡見学園女子大学)

地方圏の子どもたちに向けた芸術ワークショップの拡充～公立文化施設におけるファシリテーターとの関係構築～

③岩崎 ゆき(九州大学大学院芸術工学府コンテンツクリエイティブ・デザインコース修士2年)

調整中

西田 紘子(九州大学大学院芸術工学研究院コミュニケーションデザイン科学部門助教)

福岡市小劇場演劇における外部スタッフの実態について

分科会Ⅳ－D「アートプロジェクト(2)新たな可能性」座長：調整中

南282中講義室

発表者

予定討論者

①楊 淳婷(東京藝術大学音楽研究科博士後期課程芸術環境創造領域)

小泉 元宏(立教大学)

芸術文化活動による社会包摂—日本における外国につながる若者のエンパワメントに着目して—

②櫻井 駿介(東京藝術大学博士後期課程)

原 久子(大阪電気通信大学)

現代日本アート・シーンにおける芸術拠点形成の動向に関する一考察

③伊藤 裕夫(静岡文化芸術大学等非常勤講師)

調整中

脱制度化のアートマネジメント試論～アートプロジェクト・マネジメントの方法論構築に向けて～

12:15—13:15 ポスターセッション コアタイム

北棟3階 学生食堂

12:15—13:05 理事会(理事のみ)

南棟378教室

13:15—13:45 総会

南棟278教室

14:00—15:45 シンポジウム

南棟278教室

テーマ「スポーツ政策と文化政策 —2020年以降の課題—」

ゲストスピーカーによる問題提起：柳沢和雄・筑波大学教授(日本体育・スポーツ経営学会 会長)

ディスカッション：複数の学会員を予定

進行：松本 茂章(静岡文化芸術大学教授)

16:00—18:00 企画フォーラム

南棟2階

企画1 地域版アーツカウンシルと文化振興財団

南棟280教室

企画代表者 岩瀬 智久(静岡県文化・観光部文化政策課)

伊藤 裕夫(日本文化政策学会理事)

2017 年 2 月 20 日現在 暫定版

企画2 再考・ソーシャルインクルージョン—表現しないとダメなんですか？— 南棟281教室

企画代表者 長津 結一郎(九州大学大学院芸術工学研究院コミュニケーションデザイン科学部門助教)
中村 美帆(静岡文化芸術大学文化政策学部芸術文化学科講師)

■ポスターセッション 発表一覧

会場:学生食堂(北棟3階)

小間番号	申込者氏名	所 属	発 表 タ イ ト ル
1	樽本光代	鳥取大学大学院地域学研究科地域創造専攻地域文化分野修士課程2年	なぜ地域で映画を上映するのか?—鳥取市における自主上映活動の持つ意義—
2	高橋伸佳	東京大学大学院文化資源学科小林真理研究室	地方自治体の文化政策における財団の役割 横浜市を例として
3	森田愛海	東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学研究専攻 文化経営学専門分野 修士2年	アール・ブリュットの受容初期に果たした世田谷美術館の役割に関する研究
4	荒井浩 (代表)	東京大学人文社会系研究科文化資源研究室(小林ゼミ)	文化行政における評価に関する考察
5	落合秀俊	静岡文化芸術大学大学院文化政策研究科修士課程1年松本茂章研究室	ミュージアムの設置場所に関する考察
6	岩瀬理絵	静岡文化芸術大学大学院文化政策研究科	官民協働の図書館づくり—恵庭市の『恵庭まちじゅう図書館』を事例に—
7	青木かな子	静岡文化芸術大学大学院 文化政策研究科 修士課程1年 松本茂章研究室	「音楽のまち」に求められる要素
8	木村彩乃	静岡文化芸術大学文化政策研究科2年	歴史まちづくり法による城下町の風致形成—担い手のつながりに着目して—
9	木村波音	静岡文化芸術大学文化政策学部芸術文化学科3年	公立文化施設による市民演劇づくり～豊橋市「PLAT」を事例に～
10	築地美季	静岡文化芸術大学文化政策学部芸術文化学科3年	伝承文化とまちづくり～掛川・夜泣き石伝説を事例に～
11	村山ひかる	静岡文化芸術大学文化政策学部芸術文化学科3年	地域社会と映画館の関係を考える～高田世界館の事例から～
12	中村紗貴	静岡文化芸術大学大学院 文化政策研究科修士課程2年	近代京都の産業復興と京都高等工芸学校 — 教員・卒業生が果たした役割 —
13	鈴木凱貴	静岡文化芸術大学文化政策学部芸術文化学科3年(中村美帆研究室)	日本における彫師のライセンス制度導入に向けての検討
14	長谷川菜々美	静岡文化芸術大学文化政策学部芸術文化学科3年(中村美帆研究室)	インターネット時代における JASRAC の音楽管理の在り方

※小間番号は受付順です。

■研究発表者へのお願い

(1) 会場でのコピーサービスはいたしかねます。資料配布を希望される方は、最低 30 部以上のレジユメの事前準備をお願いします。

(2) 報告者は、報告される会場に分科会開始の 10 分前に会場にお集まりください。座長・報告者による簡単な打ち合わせ等が行われる場合があります。

(3) 機器の使用を希望される方は特に次の点にご注意ください。

①開催校では機器の動作確認等含め、できるかぎり報告者への協力をいたしますが、機器操作等については報告される方の自己責任にてお願い致します。特に、コンピュータ関連の接続や、データ形式等にご注意ください。万が一、機器が作動しない場合に備えて、印字原稿やスライド印刷資料をご用意頂く等の方策を取っていただくことをお勧めします。

②機器を利用される報告者は、分科会開始の 15 分前に会場にお集まりください。各自、機器使用の準備、確認などをお願いします。

(4) その他、会場ごとの注意点は以下のとおりです。

[分科会・企画フォーラムに関する使用機材]

※会場には、①ノート PC (OS : Windows7 ないし 8.1、Microsoft Office 2007 ないし 2013 インストール済)、②RGB ケーブルを用意してあります。その他、発表に必要な機材やコネクタ等は、各自ご用意ください。

※すべての会場でプロジェクターを使用することができます。

※パソコンについては、ワード、エクセル、パワーポイント等の基本ソフトについてはインストールされていますが、それ以外のソフトをご使用の場合は、ご自身でパソコンを持ち込んでください。

[ポスターセッションに関する使用機材と、集合時間に関するご注意]

※発表方法 ①コアタイムは、必ずご自身のポスターの前で発表して下さい。
(コアタイムは、3 月 26 日 (日) 12:15-13:15 です)

②音の出る発表資料は不可となります。

※ポスター仕様 ①ポスターサイズは、A1 用紙縦 1 枚内に収まるもの。

②1m離れても判読できる程度の文字の大きさ。

③各人が印刷の上、当日ご持参下さい。

■昼食について

1 日目・2 日目ともに大会参加申込の際に 1 食あたり 1000 円で弁当（汁物付）のご注文を受け付けます（1 食あたり 1000 円、両日申し込む場合は 2000 円）。もしくは浜松駅から静岡文化芸術大学までの間で、ご昼食を事前調達の上、大会会場にお越しください。

昼食場所としては、ポスターセッションの会場にもなっている学生食堂を適宜ご利用ください（持ち込み可）。緑茶およびコーヒーのサービスが利用可能です。当日は学生食堂・学内購買は営業しておりません。事前申込以外での学内での昼食の調達はできませんのでご注意ください。

なお、大学最寄りのコンビニエンス・ストアは「サークルK浜松野口店」、「セブンイレブン浜松船越町店」がごございます。



<https://www.google.co.jp/maps/>

■懇親会について

- ・日時 2016年3月25日（土）18:45ー20:15
- ・会場 学生食堂（北棟3階）
- ・参加費 一般（会員・非会員ともに）6,000円 学生3,000円
- ・申し込み方法：大会申込と同時に申込。事前振込が必要です。
- ・申込期限：申込は3月14日（火）まで、事前振込は3月15日（水）まで（厳守）

■宿泊について

静岡文化芸術大学及びJR浜松駅周辺には複数のホテルがごございます。そのうち、以下の表に掲載したホテルは、静岡文化芸術大学と法人契約を結んでおり、予約の際に「静岡文化芸術大学で開催される学会に参加する」旨を伝え、料金が割引になる場合があります（条件によっては割引が使えないホテルもごございますのでご注意ください）。割引の詳細をはじめとする宿泊料金、サービス内容等の諸条件は、各ホテルにお問い合わせください。ホテルによっては、インターネ

2017 年 2 月 20 日現在 暫定版

ット割引等他のサービスの方が、料金が安くなる場合もありますのでご注意ください。

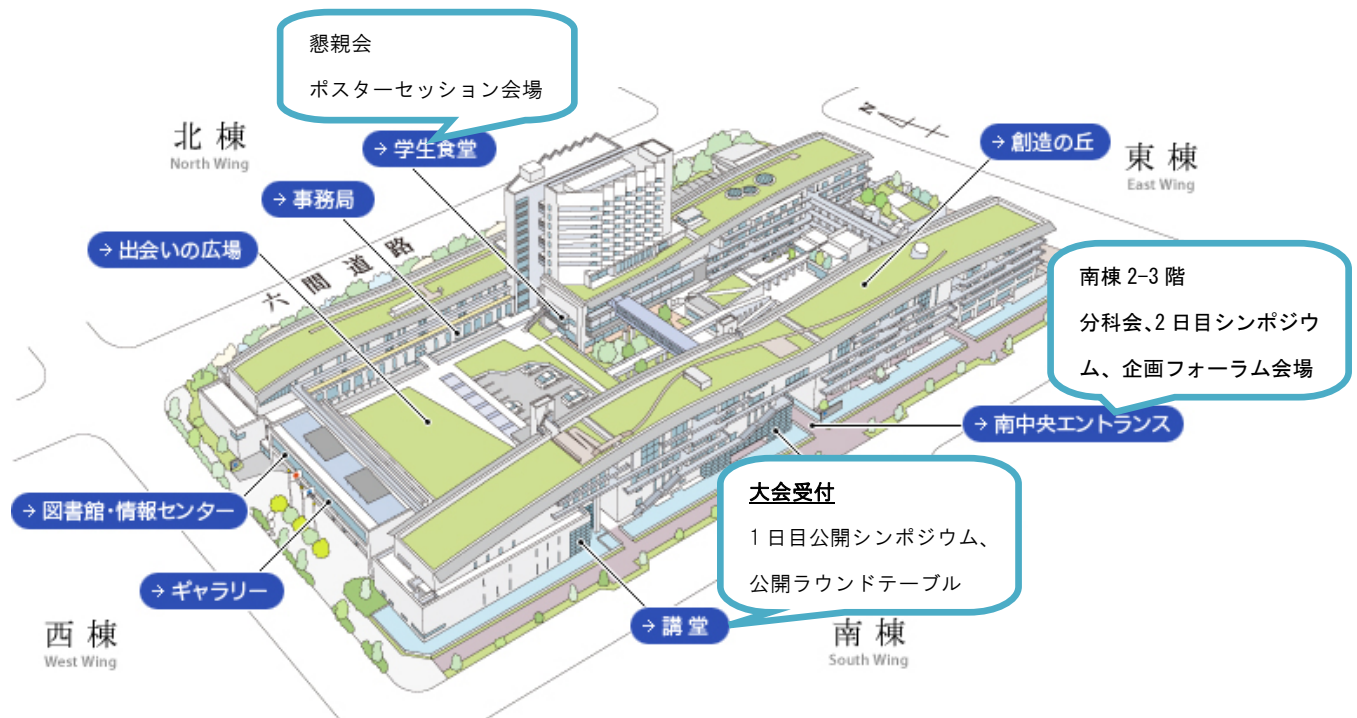
< 静岡文化芸術大学及び J R 浜松駅周辺の宿泊施設の例 >

区分	名 称	住 所	電話番号	上段：大学からの交通手段
				下段：J R 浜松駅からの交通手段
シ テ ィ ホ テ ル	オークラアクトシ ティホテル浜松（ア クトシティ内）	〒430-7733 浜松市中区板屋 町 111 - 2	053 (459) 0777	徒歩 12 分 浜松駅から徒歩 3 分
	グランドホテル浜 松	〒432-8507 浜松市中区東伊 場 1 - 3 - 1	053 (452) 2114	大学から浜松駅まで路線バス、その後、 浜松駅にて下記の路線バス利用 浜松駅からバス 5 分、「中部電力」下車
	ホテルクラウンパ レス浜松 （旧名称 浜松名鉄 ホテル）	〒430-8511 浜松市中区板屋 町 110-17	053 (452) 5111	徒歩 12 分 浜松駅から徒歩 3 分
	ホテルコンコルド 浜松	〒430-0946 浜松市中区元城 町 109 - 18	053 (457) 1111	徒歩 17 分 浜松駅からバス 7 分、「浜松城公園入 口」下車
ビ ジ ネ ス ホ テ ル	くれたけインアク ト浜松	〒430-0928 浜松市中区板屋 町 690	053 (459) 1511	徒歩 10 分 浜松駅北口から徒歩 6 分
	コートホテル浜松	〒430-0926 浜松市中区砂山 町 324 - 15	053 (457) 0505	徒歩 18 分 浜松駅南口から徒歩 2 分
	ダイワロイネット ホテル浜松	〒430-0927 浜松市中区旭町 9-1	053 (455) 8855	徒歩 16 分 浜松駅北口から徒歩 3 分
	浜松ホテル	〒430-0926 浜松市中区砂山 町 362-25	053 (450) 5555	徒歩 20 分 浜松駅南口から徒歩 4 分
	ホテル明治屋	〒430-0807 浜松市中区佐藤 1-1-30	053 (465) 8111	徒歩 10 分 浜松駅北口から徒歩 15 分
	ホテルソリッソ浜 松	〒430-0926 浜松市中区砂山 町 322-7	053 (452) 5000	徒歩 17 分 浜松駅南口から徒歩 1 分
	ホテルデイバイデ イ	〒430-0929 浜松市中区中央 3-10-25	053 (452) 6600	徒歩 10 分 浜松駅北口から徒歩 8 分
	ホテルルートイン 浜松駅東	〒430-0929 浜松市中区中央 3-10-28	053 (413) 1711	徒歩 10 分 浜松駅北口から徒歩 8 分
	リッチモンドホテ ル浜松	〒430-0946 浜松市中区元城 町 218 - 1	053 (450) 5575	徒歩 17 分 浜松駅北口から徒歩 13 分

※上記は大学及び J R 浜松駅周辺のホテルの一例です。

■大会会場について

大会受付は南棟にある講堂ロビーにて行います。 受付後に各会場へとご移動をお願いします。



<http://www.suac.ac.jp/about/campusinfo/map.html>

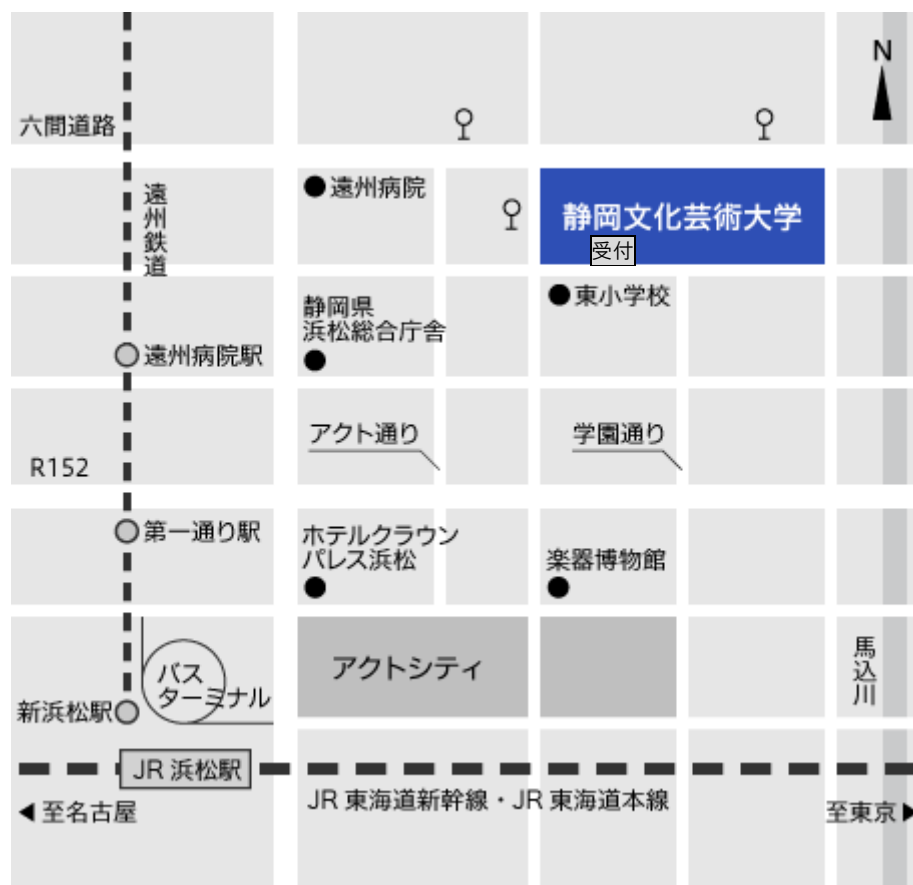
会場間の移動については、当日の案内板をご確認ください。 建物の構造上、同じフロアでも移動に注意を要する部屋がございますのでご注意ください（例：シンポジウム会場の 2 階出口から 2 階の分科会会場に向かうために 1 階ないし 3 階を経由する必要がある、等）。

■大会会場までのアクセスについて

JR 浜松駅より徒歩 15 分。

遠州鉄道「遠州病院駅」下車、徒歩 8 分。

駐車場はご利用できませんので、公共の交通機関をご利用ください。



<http://www.suac.ac.jp/access.html>

浜松駅からバスをご利用の場合

①遠鉄バス（10 分間隔で運行しています）

浜松駅北口バスターミナル 10 番のりば

バス停「文化芸術大学」下車

注：10 番のりばから出ているバスは、「文化芸術大学」バス停を通ります。ただし、系統番号 70 番「子安・笠井行」・系統番号 2 番「早出・イオン市野行」を除きます。

②浜松市循環まちバス く・る・る（20 分間隔で運行しています）

浜松駅北口バスターミナル 12 番のりば「まちなか東ループ」

バス停「文化芸大」下車

■ご案内：3 月 24 日（金）全国アートマネジメント会議

本大会前日の午後より、会場である静岡文化芸術大学において、「第 3 回全国アートマネジメント会議」が開催されます。静岡文化芸術大学エグゼクティブ・プログラム（SUAC-EP）の社会人専門講座受講者、特別プログラム東京会場受講者、特別プログラム奈良会場受講団体による研究成果発表と「SUAC 文化政策・経営フォーラム」会員による実践報告が行われます。終了後は交流会の開催も予定されています。詳細につきましては、主催者よりいただいたチラシを次頁に添付しますので、ご参照ください。

参加希望の方は、チラシをご参照の上、3 月 22 日（水）までに第 3 回全国アートマネジメント会議事務局まで直接お申し込み下さい。参加費は無料（交流会は除く）ですが、通常のエクスカーションとは異なり、大会参加手続きとは別途申込が必要になりますのでご注意ください。

第3回 全国アートマネジメント会議

日時: 2017年3月24日(金) 13:00~18:30

場所: 静岡文化芸術大学 278大講義室

静岡文化芸術大学エグゼクティブ・プログラム(SUAC-EP)の社会人専門講座受講者、特別プログラム東京会場受講者、特別プログラム奈良会場受講団体による研究成果発表会を開催いたします。併せて、修了生ネットワーク組織「SUAC文化政策・経営フォーラム」会員による実践報告も行います。

受講者による成果発表 13:10~16:40 (発表順は変更になる場合があります)

- 澤柳美千子(浜松市鴨江アートセンター)
「浜松市におけるクリエイティブクラスの意識と行動」(仮)
- 松井真理子(小田原市文化部文化政策課)
「コミュニティを創造する劇場~公立文化施設が「新しい広場」になるために~」
- 村上理恵(調布市せんがわ劇場)
「直営の公立文化施設における事業の運営体制のあり方」(仮)
- 森田 薫((公財)練馬区文化振興協会)
「アマチュア文化団体への助成の効果とその評価方法について」(仮)
- 樋口雅史((公財)新潟市芸術文化振興財団)
「「新しい公共」への脱皮と評価制度の確立~行政とのパートナーシップを目指して~」(仮)
- 奈良県宇陀市
「地域間連携と文化施設の活性化」(仮)
- 奈良県天理市
「総合政策に基づく文化政策の指標作りと事業分析」(仮)

SUAC文化政策・経営フォーラム会員による実践報告 16:50~17:50

- 実践報告① 鈴置路子(おおぶ文化交流の杜) 大学院文化政策研究科修了生
- 実践報告② 高田佳奈((公社)岡山県文化連盟) 文化庁補助事業「アートマネジメント実践ゼミナール修了生」

修了証授与・講評 17:50~18:20

※終了後、大学近辺で交流会を開催いたします。

静岡文化芸術大学大学院文化政策研究科は、平成16年設立の実務家養成を目指した大学院です。特にアートマネジメント分野においては、日本の大学院として初めてAAAE (Association of Arts Administration Educators) の正会員となり、国際的基準にそった教育プログラムを実施しています。修了生は、文化施設、行政、非営利団体、文化・情報産業等の第一線で活躍しています。平成25年度から平成27年度にかけ、文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」の採択を受け、3年間にわたって「文化施設・実演芸術団体のためのアートマネジメント実践ゼミナール」を全国7都市で開講し、文化施設等で働く実務家のために、ゼミ形式の実践的な講座を展開してきました。静岡文化芸術大学では、平成28年度より「SUACエグゼクティブ・プログラム(SUAC-EP): アートマネジメント&芸術文化政策コース」を開講しています。

◇お申込み・お問い合わせ

参加希望の方は、3月22日(水)までに①氏名、②ご所属、③ご連絡先(メールアドレス等)を明記のうえ、メールにてお申込みください。
お申込みの際、交流会への参加希望も合わせてお知らせください。

第3回 全国アートマネジメント会議 事務局 : suac.artsmanagement.zenkoku@gmail.com

主催: 静岡文化芸術大学

共催: NPO法人Explat、奈良県大芸術祭実行委員会、SUAC文化政策・経営フォーラム